記者発表資料

令和８年１０月１９日
岩手河川国道事務所
岩　　手　　県

第2回 岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会を開催

国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所・岩手県は共同で、岩手山の火山噴火に起因する土砂災害を軽減するための緊急時対策(ハード・ ソフト)を効率的かつ効果的に実施する計画を検討するため、各専門分野の学識者及び関係機関からなる検討会を設置し、令和8年2月20日に第1回検討会を開催しております。

岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定に向け、引き続き第2回検討会を下記のとおり開催いたします。

◆日　　時： 令和8年１０月２２日（木）１５：００～１７：００

◆場　　所： 会場：キオクシアアイーナ(いわて県民情報交流センター)８階８０３会議室
（岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目７番１号）
※会場とＷＥＢ参加の検討会委員をＷＥＢ会議システムで接続し会議を行います。

◆委員名簿： 別紙１のとおり

◆議　　事： 岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画について（別紙２のとおり）

◆公 開 等： １．本検討会は公開としております。
２．取材をご希望される報道関係者の方は、別紙３【報道機関の方へ】をご確認のうえ、別紙４取材登録書により事前登録をお願いいたします。
３．一般の方で傍聴を希望される方は、019-624-3166 岩手河川国道事務所 流域治水課までご連絡お願いいたします。

※1 火山噴火緊急減災対策砂防計画
火山噴火緊急減災対策砂防計画は、火山噴火に起因する土砂移動に対応する噴火対応火山砂防計画のうち、突発的な火山噴火の場合でも迅速かつ効果的に対処するために、土砂災害への被害をできる限り軽減（減災）する方策として、緊急減災対策実行計画（緊急ハード・ソフト対策）及びこれに関連する平常時からの準備事項を策定するものです。

≪発表記者会≫　岩手県政記者クラブ、東北建設専門紙記者会

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
副所長　関（せき） 浩明（ひろあき）　（内線204）
専門調査官　菊池（きくち） 恵（さとし）　（内線501）
TEL 019-624-3131（代表）
岩手県盛岡市上田四丁目2-2

岩手県 県土整備部 砂防災害課
砂防災害担当課長　長谷川（はせがわ） 悌生（よしお）　（内線5920）
TEL 019-651-3111（総合案内）
岩手県盛岡市内丸10番1号

別紙-1

「岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会」委員名簿

氏　名	所　属　等
井良沢　道也	岩手大学名誉教授
杉安　和也	岩手県立大学総合政策学部　准教授 （防災復興支援センター　副センター長）
土井　宣夫	岩手大学地域防災研究センター　元客員教授
檜垣　大助	弘前大学名誉教授
松本　一穂	岩手大学農学部森林科学科　准教授
三浦　哲	東北大学大学院理学研究科　特任教授
（行政委員）	
山越　隆雄	国土技術政策総合研究所土砂災害研究部 土砂災害情報研究官
坂井　佑介	国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ 火山・土石流チーム　上席研究員
松永　哲	林野庁東北森林管理局　計画保全部　治山技術専門官
志磨　克	林野庁東北森林管理局　盛岡森林管理署　署長
庄司　卓矢	林野庁東北森林管理局　岩手北部森林管理署　署長
佐々木　克幸	岩手県県土整備部　技術参事兼砂防災害課総括課長
栗田　哲児	岩手県農林水産部　森林保全課総括課長
久保　和重	岩手県復興防災部　防災課総括課長
若生　勝	気象庁仙台管区気象台　気象防災部　火山対策調整官
蓼沼　信三	気象庁盛岡地方気象台長
大音　周平	環境省十和田八幡平国立公園管理事務所 盛岡管理官事務所国立公園管理官
菅原　利幸	国土交通省東北地方整備局河川部河川保全管理官
光橋　尚司	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長
（顧問）	
齋藤　徳美	岩手大学名誉教授

順不同・敬称略

参考

「岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会」オブザーバー

氏　名	所　属　等
糸原　健児	陸上自衛隊岩手駐屯地 東北方面特科連隊本部第３科　火力調整幹部　３佐
吉田　圭一	盛岡市　総務部　危機管理防災課長
齋藤　啓志	八幡平市　防災安全課長
佐藤　志貴	滝沢市　市民環境部　防災防犯課長
上野　浩一	雫石町　防災課長
神田　清二	東日本高速道路（株）東北支社　盛岡管理事務所長

順不同・敬称略

別紙２

令和８年度 第２回
岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会

日 時：令和８年１０月２２日(木)
１５：００～１７：００
場 所：盛岡市盛岡駅西通１丁目７番１号
キオクシア アイーナ
(いわて県民情報交流センター)
８階 会議室８０３

議事次第

１．開会　15:00

２．開会挨拶

３．委員紹介

４．議 事　15:10～

１．これまでの経緯

２．第２回検討会における検討項目

（１）緊急減災対策（ハード・ソフト）の実施主体

（２）融雪型火山泥流の緊急減災対策の方向性

（３）火山防災協議会との情報共有の項目

（４）対象規模よりも大きい規模・噴火終息後対応

（５）新技術の活用

３．第３回検討会における検討事項

５．閉会　17:00

別紙３

【報道機関の方へ】

「第２回岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会」の開催について

標記会議について、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．開催日時

令和８年１０月２２日（木）１５：００～１７：００

（ＷＥＢ併用会議にて実施）

２．開催場所

キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）　（岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目７番１号）

８階　８０３会議室

３．会議の公開

●本会議は公開とします。

●写真及びテレビの撮影につきましては、議事に入る前までとなりますので、ご了承ください。

４．報道関係者の受付

●受付日時：令和８年１０月２２日（木）１４：３０～１４：５５まで

●受付場所：キオクシアアイーナ　８階　８０３会議室　入り口

５．取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

●取材に必要となる電源は、各社（各自）にてご用意ください。

●携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。

●会場では着席の上、静粛に傍聴してください。

●事故防止の観点から、取材に当たっては節度のある行動をお願いします。

●手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。

●会議の円滑な進行のため、係員の指示等に従ってください。

別紙４

標記について、取材をご希望の報道機関におかれましては、下記確認事項を記載のうえ、メールまたはＦＡＸにて事前に申し込みお願いいたします。

メールアドレス：thr-731chou1&&mlit.go.jp
※「&&」を「@」に変えて送付してください。

ＦＡＸ番号：０１９－６２６－２７７０
岩手河川国道事務所　流域治水課

※ 送信票は不要です。
※ 送信後、お手数ですが、着信確認の連絡（ＴＥＬ：０１９－６２４－３１６６）をお願いいたします。
※ 取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

第２回岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会
取材登録書

標記について、取材をご希望の報道機関におかれましては、事前にご登録をお願い致します。

送信期限：１０月２１日（水）１２時００分まで

１．報道機関名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．取材者等

（１）ご氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（２）連絡先 ＴＥＬ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（３）取材人数 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

（４）テレビカメラの有無 ＿＿有　・　無＿＿ 「有」の場合、＿＿＿＿＿台